

1. 地震活動に関する資料

4 頁 6月の活動

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

1 日 愛知県東部 深さ 37km M3.1

南関東における M 3.5 の地震は、

1 日 千葉県北東部 深さ 49km M3.9

1 日 東京湾 深さ 29km M4.1

1 日 東京湾 深さ 28km M4.1

1 日 東京湾 深さ 28km M4.3

1 日 東京湾 深さ 25km M3.9

2 日 茨城県南部 深さ 63km M4.0

9 日 千葉県北西部 深さ 72km M4.5

10 日 千葉県北西部 深さ 75km M4.1

17 日 茨城県南部 深さ 47km M3.6

21 日 茨城県沖 深さ 44km M3.6

24 日 茨城県沖 深さ 46km M4.5

27 日 茨城県沖 深さ 45km M4.2

27 日 茨城県沖 深さ 45km M4.1

30 日 茨城県沖 深さ 50km M3.6

その他の地域で目立った地震は、

2 日 八丈島近海 深さ 59km M4.2

20 日 千葉県北東部 深さ 51km M5.6

20 日 千葉県北東部 深さ 52km M4.2

20 日 岐阜県美濃中西部 深さ 9km M4.6

20 日 岐阜県美濃中西部 深さ 9km M4.3

また、三重県中部の深さ 12～15km で 10 日から 20 日にかけて最大 M2.9 のまとまった活動があったほか、20 日に静岡県中部の深さ 14～17km で最大 M1.2 のまとまった活動があった。

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震 (M7.4) の M4 以上の余震はなかった。

5 頁 7月の活動 (1日～23日)

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

11 日 愛知県西部 深さ 14km M3.1

南関東における M 3.5 の地震は、

11 日 千葉県東方沖 深さ 38km M4.4

11 日 茨城県沖	深さ 48km M4.7
11 日 千葉県北東部	深さ 49km M3.9
15 日 千葉県南部	深さ 53km M3.5
17 日 千葉県北東部	深さ 33km M3.8
22 日 千葉県北東部	深さ 50km M4.4
23 日 千葉県北西部	深さ 73km M6.0
23 日 千葉県北西部	深さ 68km M4.5
23 日 千葉県北西部	深さ 69km M4.2
23 日 千葉県北西部	深さ 68km M4.1
23 日 千葉県北西部	深さ 69km M3.5

その他の地域で目立った地震は、

10 日 八丈島東方沖	深さ 55km M5.8
10 日 八丈島東方沖	深さ 48km M4.1
10 日 八丈島東方沖	深さ 52km M4.3

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震 (M7.4) の M4 以上の余震はなかった。

6 頁 東海地域の地震活動指数

固着域：地殻内およびフィリピン海プレート内の短期・中期ともにほぼ正常(5)～(6)である。

M2.0 以上の地震でも、地殻内およびフィリピン海プレート内の中期・長期ともに、ほぼ平常(4)～(5)である。

愛知県：地殻内およびフィリピン海プレート内の短期・中期ともにほぼ正常(3)～(4)である。

M2.0 以上の地震では、地殻内の中期・長期で平常(4)である。フィリピン海プレート内は中期がほぼ平常(3)で回復傾向にあるが、長期は低い(0)傾向が続いている。

浜名湖：西側で短期・中期とも平常(4)、東側では短期・中期ともにほぼ平常(4)～(3)。

東側では短期で見ると 2000 年半ばから低めの指数(1～4)の変動を繰り返して 4 になっている。全域では短期はほぼ平常(3)、中期はやや低い傾向(2)が続いている。

駿河湾：短期・中期ともにほぼ平常(4)～(3)。

7～8 頁 固着域

(1997/01/01～2005/07/23 M 1.1)

[地殻内]

特段の変化なし。

[フィリピン海プレート内]

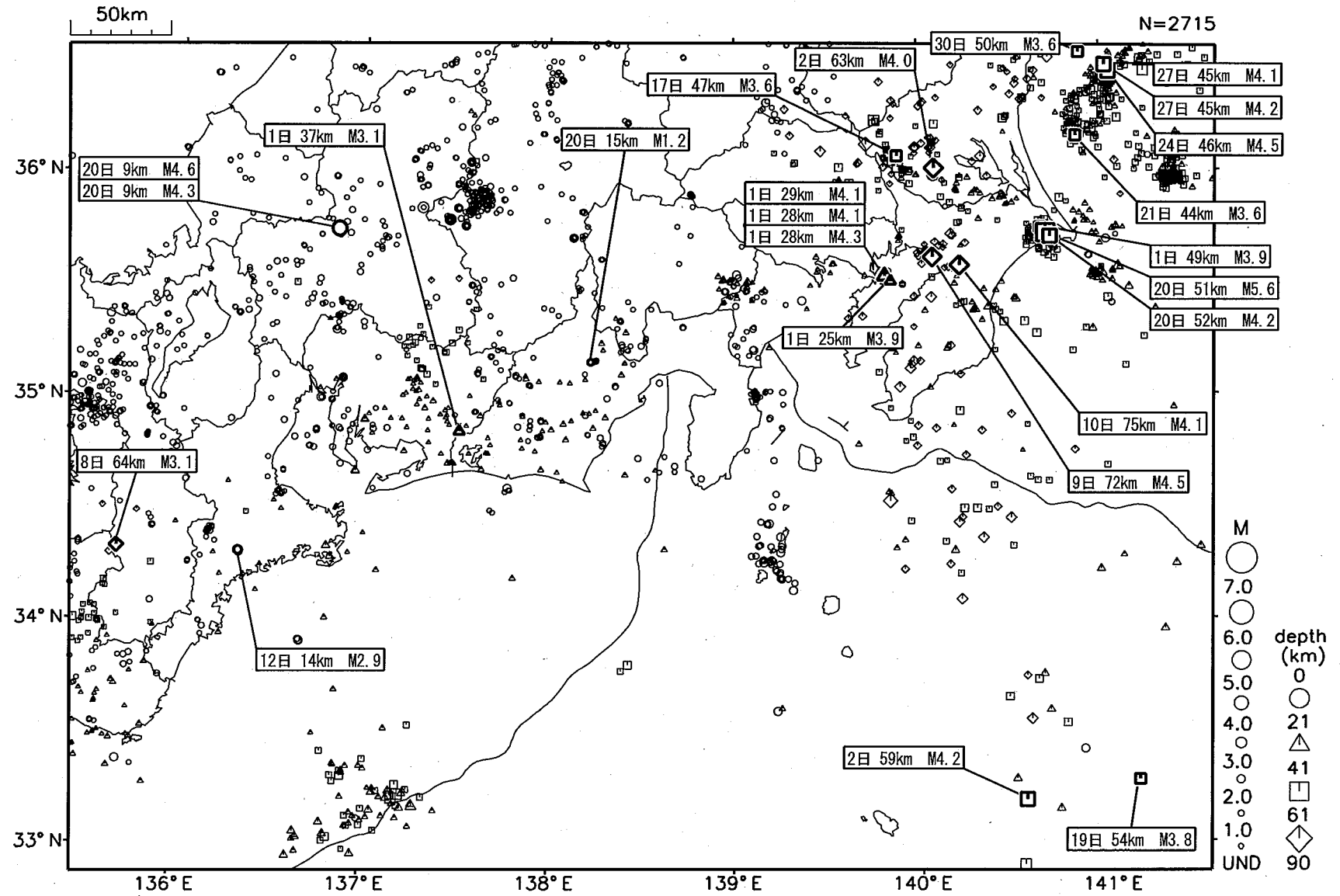
特段の変化なし。

9 頁 浜名湖 (1995/01/01 ~ 2005/07/23 M 1.1 : フィリピン海プレート内)

[東側] 2000 年後半から浜名湖北岸にあるクラスタの活動が低下し、東側全体の活動レベルが低下した状態が継続している。最近では 2003 年 6 月 5 日 M3.9、2004 年 5 月 6 日 M2.8 が目立つ。

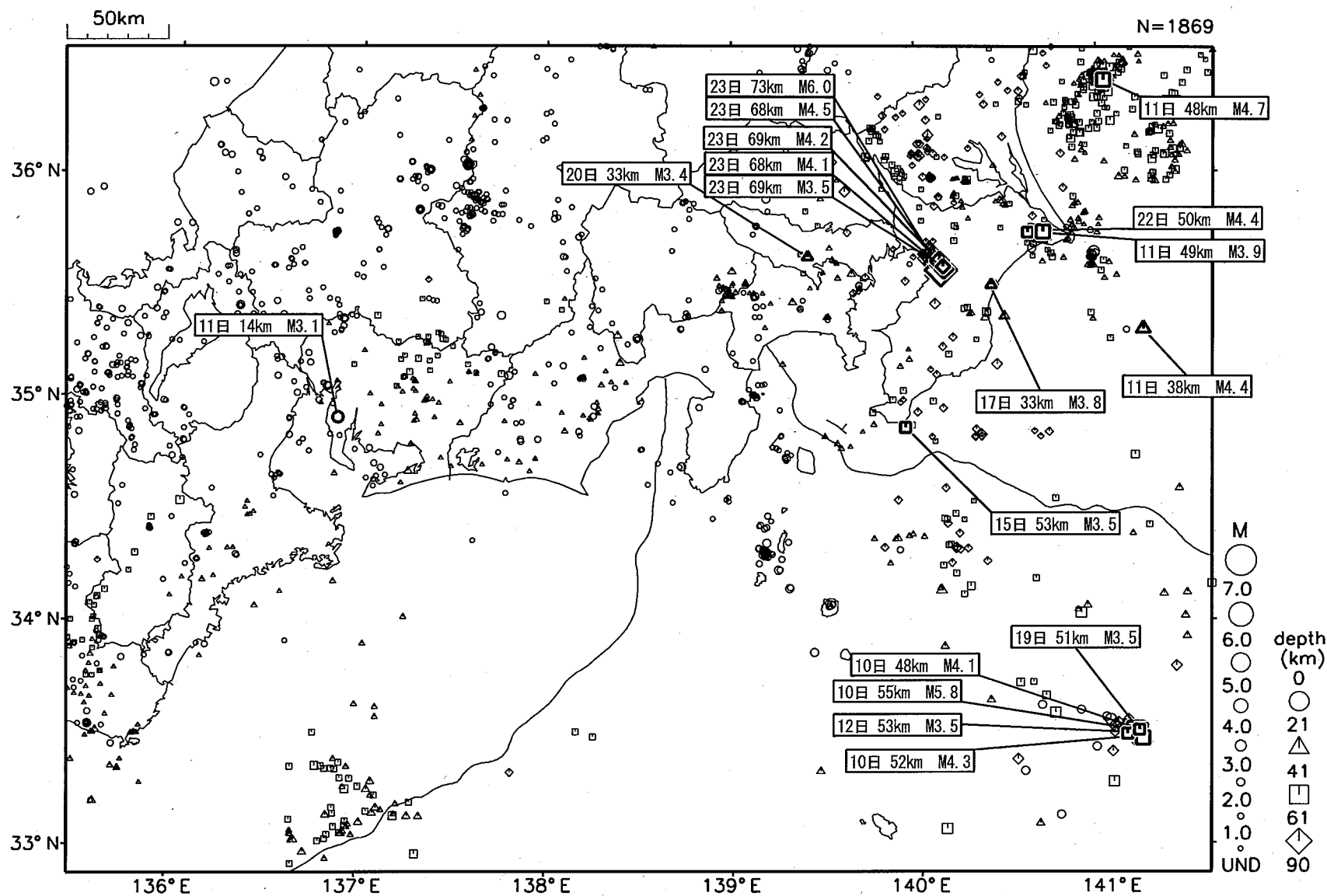
[西側] 2003 年半ばから継続していた西部のクラスタの活動は、2005 年に入ってから低下している。

東海・南関東地域の地震活動 2005年6月



気象庁作成

東海・南関東地域の地震活動 2005年7月(1日~23日)



気象庁作成

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2005年7月23日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	6	5	4	3	4	3	4	4
短期地震回数 (平均)	9 (6.18)	7 (5.83)	3 (4.37)	10 (12.63)	2 (2.38)	4 (6.08)	3 (3.70)	6 (6.18)
中期活動指数	6	6	4	4	4	2	3	3
中期地震回数 (平均)	23 (18.53)	24 (17.50)	13 (13.11)	35 (37.90)	3 (4.76)	7 (12.15)	5 (7.39)	9 (12.37)

* Mしきい値：

M $\geq$ 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M $\geq$ 1.4：駿河湾

* クラスタ除去：

震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ ：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$ ：駿河湾

* 対象期間：

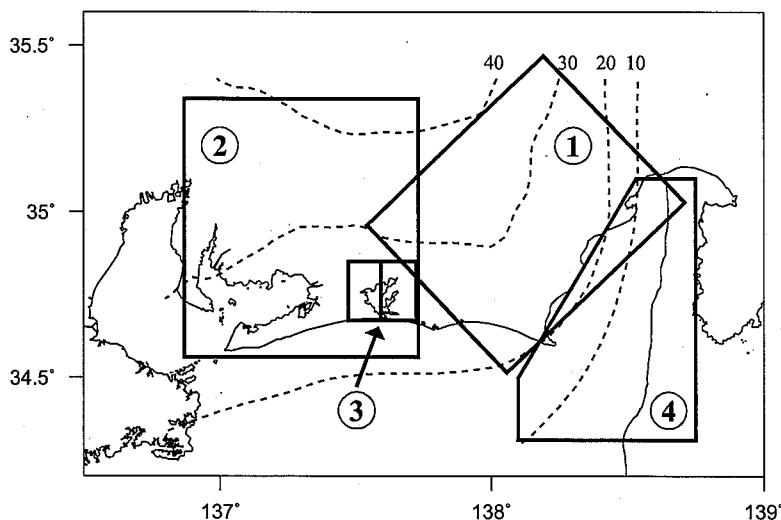
短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

* 基準期間：

1997年—2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年—2000年（3年間）：浜名湖

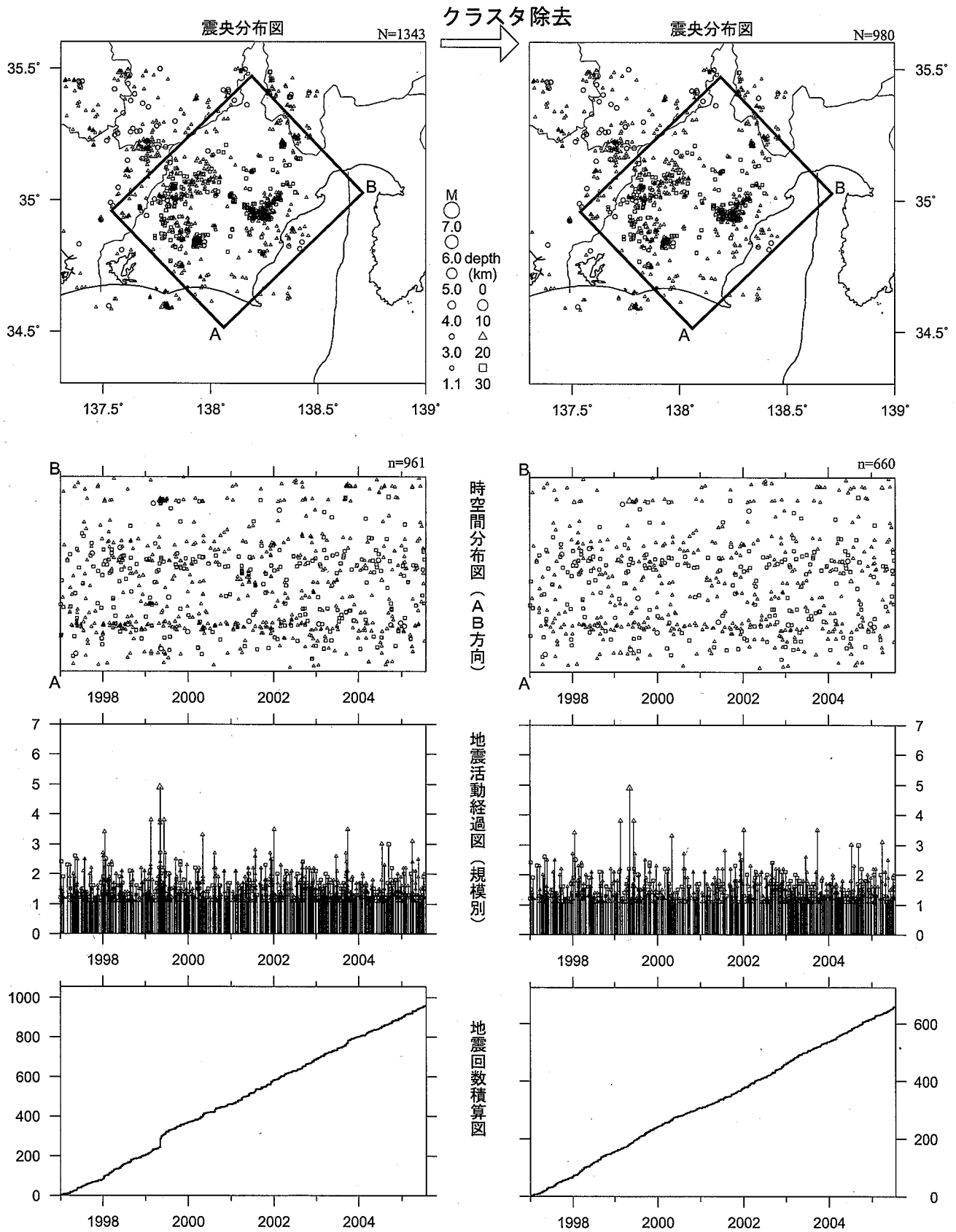
1991年—2000年（10年間）：駿河湾



* プレート境界の等深線を波線で示す。

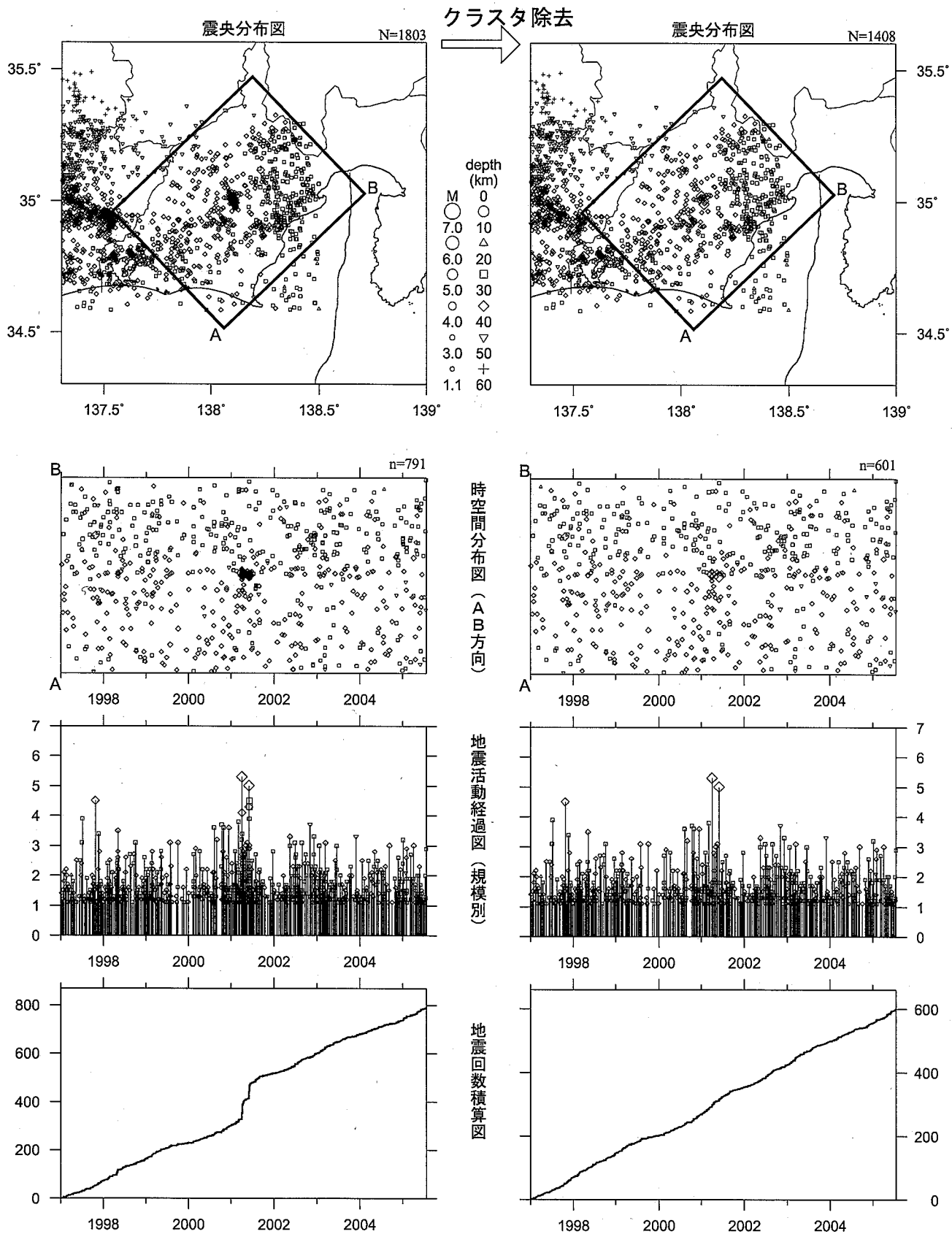
地震回数の指数化		
指数	確率 (%)	地震数
8	1	多
7	4	↑
6	10	
5	15	
4	40	平常
3	15	↓
2	10	
1	4	
0	1	少

固着域（地殻内）
1997/1/1~2005/7/23 M $\geq$ 1.1



固着域（フィリピン海プレート内）

1997/ 1/ 1~2005/ 7/23 M ≥ 1.1

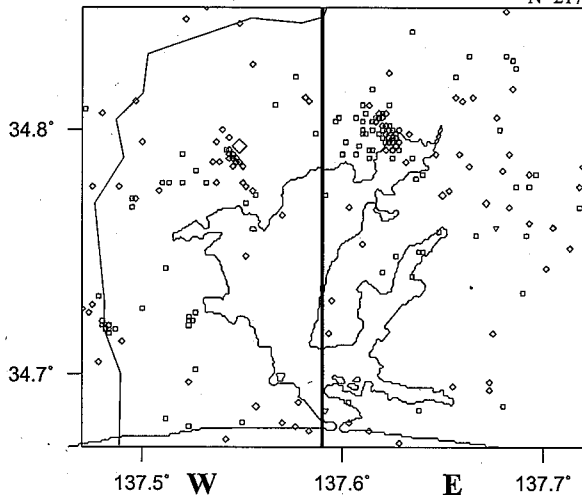


浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2005/ 7/23 M $\geq$ 1.1 * クラスタ除去したデータ

震央分布図

N=217

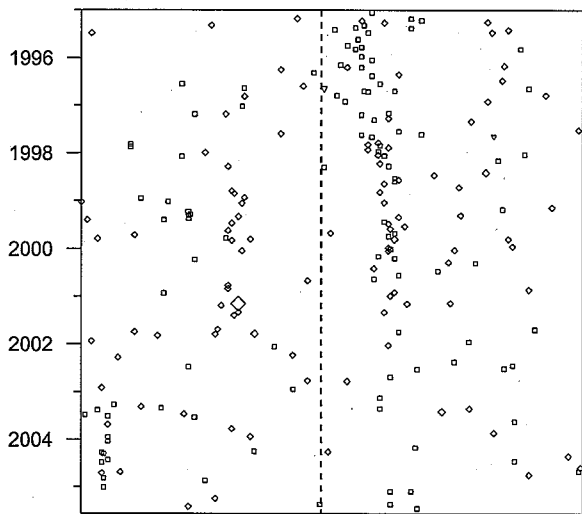
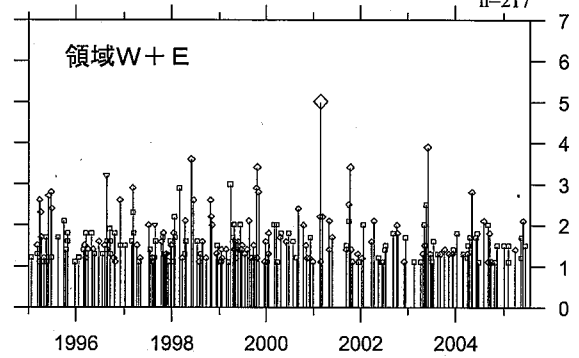


depth
(km)
M
0 0
7.0 10
6.0 20
5.0 30
4.0 40
3.0 50
1.1 60

* 吹き出しは最近60日以内、M $\geq$ 3.0

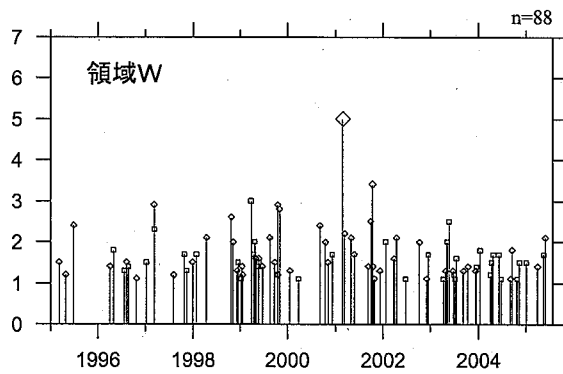
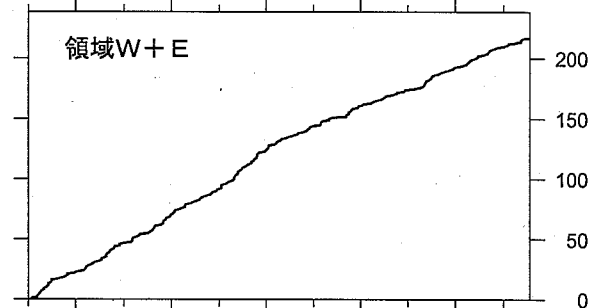
地震活動経過図（規模別）

n=217



時空間分布図（東西方向）

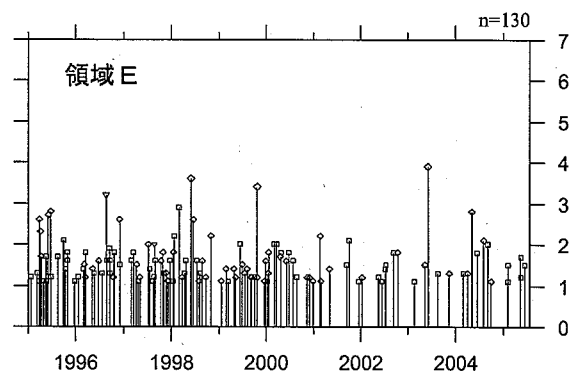
地震回数積算図



n=88

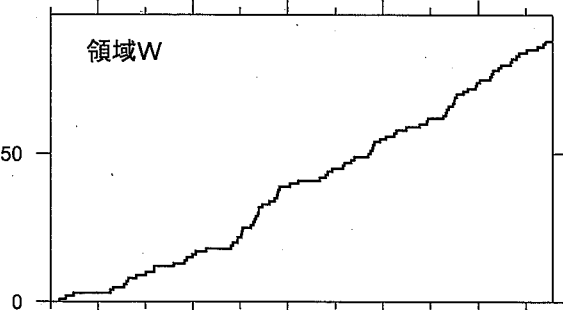
領域W

地震活動経過図（規模別）



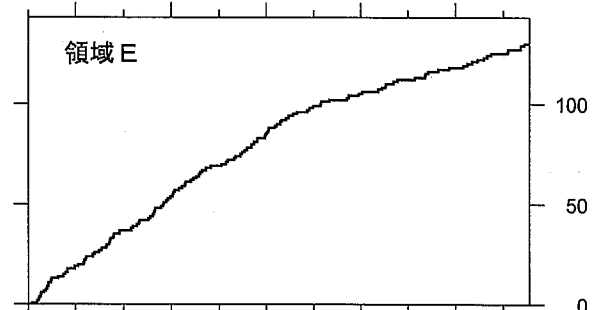
n=130

領域E



領域W

地震回数積算図



領域E